

評価シート（指定期間を通じた評価）

名古屋市中村文化小劇場における指定管理者の管理運営実績

1 基本情報

<所管局：観光文化交流局>

指定管理者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団				
主な業務内容	名古屋市中村文化小劇場の管理				
評価対象期間	平成 30 年 4 月～令和 6 年 3 月	指定管理期間	平成 30 年 4 月～令和 7 年 3 月		

2 管理運営状況（評価結果の推移）

評価項目	評価区分						特記事項
	平成 30 年 度	令和 元 年 度	令和 2 年 度	令和 3 年 度	令和 4 年 度	令和 5 年 度	
1 施設利用							
(1) 法令等の順守	○	○	○	○	○	○	
(2) 利用料金	○	○	○	○	○	○	
2 職員体制							
(1) 職員体制	○	○	○	○	○	○	
3 維持管理							
(1) 施設の維持管理	○	○	○	○	○	○	
(2) 再委託業務	○	○	○	○	○	○	
(3) 備品等物品の管理	○	○	○	○	○	○	
4 サービス							・ 3 月ホール利用率 100%を達成 (H30)
(1) 利用実績	◎	○	—	—	—	◎	・ ホール利用率が対計画値比 6.6 ポイント増 (R5)
(2) 事業計画実施状況	○	○	○	○	○	○	
(3) 提案事業	○	○	○	○	○	○	
(4) 広報・PR の実施	○	○	○	○	○	○	
(5) 利用者満足度・苦情・要望の把握・対応	○	○	○	○	○	○	
5 経費							
(1) 執行状況	○	○	○	○	○	○	

年度ごとの総合評価（所管局のコメント・特記事項等）	
平成 30 年度	天井脱落対策工事による休館で3月のみの劇場運営であったが、休館後の利用者獲得及び利用率向上を目的とした地域への営業活動や関係団体との協働によるアウトリーチ事業の実施等により、3月のホール利用率は100%を達成した。 休館中も劇場情報紙「赤い鳥居通信」を継続発行し、劇場のPRをはじめとした地域文化の発信に貢献した。
令和元 年度	施設周辺学区や地域団体、学校等公共機関との連携強化を念頭に置いた営業活動により、利用率の向上を図った。その結果、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の1月末時点でのホール利用率は87.4%で、工事休館前の平成29年度実績値には届かなかったが、計画値は達成できた。 施設事業では、区民まつりに合わせて「アクトーズタウン交流祭」を開催し、地域で活動する団体に舞台上で発表する機会を提供するとともに、地域の文化団体と地域住民の交流促進に寄与した。来場者数も計画値を大きく上回り、地域の賑わい創出に貢献した。
令和 2 年度	施設事業では、劇場パートナーである劇団「座・なかむら」の定期公演が新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったが、劇団員の練習の成果を発表する場として小規模な発表会を開催するなど継続的に活動を行い、市民の文化活動への参画の場、世代間交流の場といった劇場の機能の維持と発展に努めた。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。
令和 3 年度	利用率は新型コロナウイルス感染症の影響を受けて目標値に達しなかったが、周辺地域への利用案内配布や、近隣店舗に劇場情報紙の配架を依頼するなど、利用促進につながる取り組みを行った。 施設事業では地域に密着した各種事業を実施した。「なかむら音楽会」では区役所及び地元の高校と連携して和太鼓の演奏会を開催し、出演者の活動支援と地域住民が文化に触れる機会の創出に寄与した。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。
令和 4 年度	松蔭高校和太鼓部の演奏会や県立芸術大学学生によるピアノコンサートなど、近隣の学校等と連携した事業を実施しており、劇場での演奏機会を提供するなど、若手演奏家の育成に力を入れている点が評価できる。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。

令和5年度	SNS（フェイスブック・X・インスタグラム）フォロワー数の拡充に努め、年齢層によって効果的に広告媒体（チラシ・SNS等）を使い分け、主催事業への増員を図った点が評価できる。 ホール利用率は対計画値比 6.6ポイント上回っており、施設の空き情報をお知らせする等の利用促進に積極的に努めていると評価できる。
-------	---

3 利用状況等

具体的な取り組みや成果等
SNS での情報発信や、近隣店舗に劇場情報紙の配架依頼を行い、利用率向上に努めた。新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の施設利用率は大幅に下がったが、感染症が流行する前の水準に回復しつつある。

4 収支状況等

具体的な取り組みや成果等
効率的な施設運営に努め、概ね計画通りの収支率を達成した。

5 利用者の意見や満足度等

利用者の意見や満足度等の内容・推移
指定管理者として組織全体で接遇研修を積極的に行い、利用者目線の管理を行うなどサービス面の強化を図り、利用者満足度調査では概ね「満足」の回答を得た。

6 総合評価

所管局のコメント・特記事項等
令和2年度は劇場パートナーである劇団「座・なかむら」の定期公演が新型コロナウイルス感染症の影響により中止となる事態に陥ったが、代替として小規模な発表会を開催するなど、事業を継続して開催できるよう取り組んだ点が評価できる。 また、近隣の学校等と連携して事業を実施しており、若い世代にホールで演奏する機会を提供するなど、若手の育成に注力している点が評価できる。

評価シート（指定期間を通じた評価）

名古屋市南文化小劇場における指定管理者の管理運営実績

1 基本情報

<所管局：観光文化交流局>

指定管理者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団					
主な業務内容	名古屋市南文化小劇場の管理					
評価対象期間	平成 30 年 4 月～令和 6 年 3 月	指定管理期間	平成 30 年 4 月～令和 7 年 3 月			

2 管理運営状況（評価結果の推移）

評価項目	評価区分						特記事項
	平成 30 年 度	令和 元 年 度	令和 2 年 度	令和 3 年 度	令和 4 年 度	令和 5 年 度	
1 施設利用							
(1) 法令等の順守	○	○	○	○	○	○	
(2) 利用料金	○	○	○	○	○	○	
2 職員体制							
(1) 職員体制	○	○	○	○	○	○	
3 維持管理							
(1) 施設の維持管理	○	○	○	○	○	○	
(2) 再委託業務	○	○	○	○	○	○	
(3) 備品等物品の管理	○	○	○	○	○	○	
4 サービス							・ 3 月ホール利用率 100%を達成。(H30)
(1) 利用実績	◎	◎	—	—	—	◎	・ ホール利用率 75.4%（1 月末時点） で、対計画値比 3.1 ポイント増、休館 前の平成 29 年度と比較すると 3.8 ポイ ント増 (R1)
(2) 事業計画実施状 況	○	○	○	○	○	○	・ ホール利用率が対計画値比 10.6 ポイ ント増 (R5)
(3) 提案事業	○	○	○	○	○	○	
(4) 広報・P R の実施	○	○	○	○	○	○	
(5) 利用者満足度・苦 情・要望の把握・ 対応	○	○	○	○	○	○	
5 経費							
(1) 執行状況	○	○	○	○	○	○	

年度ごとの総合評価（所管局のコメント・特記事項等）	
平成 30 年度	天井脱落対策工事による休館で3月のみの劇場運営であったが、休館後の利用者獲得のためこれまでの利用者に向けてDMの送付や電話等による営業を行った結果、3月のホール利用率は100%を達成した。 休館中は、福祉施設や大規模商業施設でアウトリーチ事業を実施し、文化芸術に触れる機会の提供に努め、まちの賑わいづくりに貢献した。また、「みなみシニア吹奏楽団」は定期演奏会のチケットが完売するなど、地域における知名度と人気が高まっており、まちの活性化に貢献するという目的を果たしていると言える。
令和元 年度	劇場情報誌や施設事業チラシの配架を近隣店舗に依頼するなど、利用率向上に向けた取り組みにより、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の1月末時点での利用率は計画値を3.1ポイント上回った。 地域特色に沿って高齢者向けの事業に力を入れてきたが、令和元年度には子どもや子育て世代を対象とした事業にも着手している。特に「小学生のための鑑賞会」では、他劇場で実施していないシャボン玉コンサートを開催し、来場者から高評価を得ている。対象を意識した広報が集客に結びついており、劇場の認知度向上にもつながっていることから、文化活動の中心として更なる地域貢献が期待される。
令和 2 年度	情報誌やイベントチラシの配布活動を定期的に行い、劇場の感染対策等を丁寧にお伝えすることで、来場を悩まれている方の不安解消に努めることができた。 施設事業では、地域の特色に沿って、高齢者向けの事業に精力的に取り組むことができた。施設所属団体である「みなみシニア吹奏楽団」においては、感染対策を実施しながら、いち早く練習を再開し、SNSで練習風景等を頻繁に情報発信することで、練習が満足にできていない他の団体のモチベーションの向上にも寄与した。 なお、利用実績については、新型コロナウイルス感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。
令和 3 年度	新型コロナウイルス感染症の影響で催事運営に不安がある利用者に対して、内容や人数に合わせて丁寧に相談に応じたことなどが評価され、お客様満足度調査では職員の対応に関する満足度が100%となった。施設事業では地域の高校と連携して「トップバンド発表会」を開催し、地域住民の鑑賞の場、出演者の発表の機会を提供し、地域の文化活動の拠点としての役割を果たした。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。

令和 4 年度	映画の上映会では高齢者のリピーターもあり、高齢者が外出するきっかけを創出しているため、今後の更なる展開にも期待したい。 また、平日の利用促進を図るために、練習利用プラン表の提案や関連施設への営業等を推進している点も評価できる。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。
令和 5 年度	継続的に施設をご利用いただくリピーターの確保のための訪問営業や、新規顧客獲得に向けて施設見学者を積極的に受け入れている取り組みなどが評価できる。また、映画の上映会では前回来場者割引制度を導入し、より継続的に施設をご利用いただけるよう工夫している。 ホール利用率は対計画値比 10.6 ポイント上回っており、施設の空き情報をお知らせする等の利用促進に積極的に努めていると評価できる。

3 利用状況等

具体的な取り組みや成果等
平成 30 年度は、天井脱落対策工事のため 2 月まで工事休館となっていたが、再開館後利用者獲得のためこれまでの利用者に向けて DM の送付や電話等による営業を行い、再開館後の 3 月は利用率 100% となった点が評価できる。 また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和 2 年度の施設利用率は低下したが、コロナ前までの水準に回復しつつある。

4 収支状況等

具体的な取り組みや成果等
効率的な施設運営に努め、概ね計画通りの収支率を達成した。

5 利用者の意見や満足度等

利用者の意見や満足度等の内容・推移
指定管理者として組織全体で接遇研修を積極的に行い、利用者目線の管理を行うなどサービス面の強化を図り、利用者満足度調査では概ね「満足」の回答を得た。

6 総合評価

所管局のコメント・特記事項等
子どもから高齢者と幅広い世代に向けて事業を複数実施している点が評価できる。特に主催事業の「ミナミシネマ」は年に複数回実施しており、映画を鑑賞する場としてだけでなく、高齢者が定期的に集まる場としての機能も目指しており、前回来場者に対して割引制度を設けるなど、定期的な外出の機会を創出している点も評価できる。

評価シート（指定期間を通じた評価）

名古屋市天白文化小劇場における指定管理者の管理運営実績

1 基本情報

<所管局：観光文化交流局>

指定管理者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団		
主な業務内容	名古屋市天白文化小劇場の管理		
評価対象期間	平成 30 年 4 月～令和 6 年 3 月	指定管理期間	平成 30 年 4 月～令和 7 年 3 月

2 管理運営状況（評価結果の推移）

評価項目	評価区分						特記事項
	平成 30 年 度	令和 元 年 度	令和 2 年 度	令和 3 年 度	令和 4 年 度	令和 5 年 度	
1 施設利用							
(1) 法令等の順守	○	○	○	○	○	○	
(2) 利用料金	○	○	○	○	○	○	
2 職員体制							
(1) 職員体制	○	○	○	○	○	○	
3 維持管理							
(1) 施設の維持管理	○	○	○	○	○	○	
(2) 再委託業務	○	○	○	○	○	○	
(3) 備品等物品の管理	○	○	○	○	○	○	
4 サービス							・ホール利用率 92.5%で対計画値比 3.3 ポイント増、対前年度比 2.9 ポイント増（H30） ・天井脱落対策工事のため休館（12 ヶ月）（R1） ・劇場情報紙を拡充し、休館中に劇場を広くPR（R1）
(1) 利用実績	◎	—	—	—	—	○	
(2) 事業計画実施状況	○	○	○	○	○	○	
(3) 提案事業	○	○	○	○	○	○	
(4) 広報・PRの実施	○	◎	○	○	○	○	
(5) 利用者満足度・苦情・要望の把握・対応	○	○	○	○	○	○	
5 経費							
(1) 執行状況	○	○	○	○	○	○	

年度ごとの総合評価（所管局のコメント・特記事項等）	
平成 30 年度	本番利用を控えた利用者への練習利用の案内や、利用者ニーズに応えるため休館日開館を実施した結果、ホール利用率は92.5%と計画値・前年度実績値ともに上回った。特に平日のホール利用率は対前年度比4.7ポイント増の88.0%を達成した。 施設事業では演劇講座の受講生を中心に結成された劇団の活動や旗揚げ公演開催に向けたサポートを行い、市民参画、世代間交流の場を提供した。今後は地域に根差した劇団を活用した地域コミュニティの活性化にも期待したい。
令和元 年度	天井脱落対策工事により1年間休館のため、再開館後の利用率向上に向けて営業活動及び広報活動に注力した。劇場情報紙の紙面拡大とカラー化を実施し、配架先も増やして、休館中に劇場を広くPRした。これにより、休館中であったが新規協賛広告を獲得することができた。 施設事業はアウトリーチ事業を中心に行い、地域文化の発信や文化芸術による地域の活性化に貢献した。また、再開館後に向けて職員の人材育成やスキルアップを図るため、例年より多く研修や講座への参加を行い、休館期間を有効に活用することができた。
令和 2 年度	動画配信による施設事業を実施し、来場を躊躇する利用者にも鑑賞の機会を提供することができた。利用者に対しては、劇場職員の動画配信のノウハウを積極的に伝えることができ、サービスの向上に繋がった。 施設事業では「第一回てんぱく文化祭」を開催。地元で活動されている文化劇術団体の方々に発表の機会を提供することで各出演団体の練習や活動に対するモチベーションの維持向上に繋げることができた。文化芸術による地域の活性化の第一歩となったと評価できる。 なお、利用実績については、新型コロナウイルス感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。
令和 3 年度	公演等を開催するにあたり、準備や対策に戸惑う利用者に対して、事前の入念な打ち合わせ、当日の混乱や不安を軽減できるようサポートを行った点が評価できる。お客様満足度評価における、職員の対応について「とても満足」又は「満足」が100%という結果にもつながっていると考えられる。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。
令和 4 年度	開館25周年記念事業として、今まで行っていた主催事業の内容を拡充するとともに、市民への還元を目的に料金設定を低くして開催した。多数の集客となり、劇場の認知度向上につなげた点も評価できる。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。

令和 5 年度	営業活動では、チラシを置いてくれている飲食店やリピーター利用者をこまめに訪問し、地域とのつながりを意識した活動を行っている。また、SNS を活用し施設事業やホール練習室の空き日等の情報を発信し、総フォロワー数は昨年度と比較すると約 3 倍以上になるなど、施設の利用促進に注力している。
------------	--

3 利用状況等

具体的な取組みや成果等
新型コロナウイルス感染症の影響により、令和 2 年度の利用率が大幅に低下したものの、SNS を用いた施設広報や営業活動の強化により、令和 2 年度以降の施設利用率は回復傾向にある。

4 収支状況等

具体的な取組みや成果等
効率的な施設運営に努め、概ね計画通りの収支率を達成した。

5 利用者の意見や満足度等

利用者の意見や満足度等の内容・推移
指定管理者として組織全体で接遇研修を積極的に行い、利用者目線の管理を行うなどサービス面の強化を図り、利用者満足度調査では概ね「満足」の回答を得た。

6 総合評価

所管局のコメント・特記事項等
令和 2 年度には、動画配信による施設事業を実施し、新型コロナウイルス感染症の影響により来場を躊躇する利用者にも鑑賞できるよう工夫した。また、公演を開催するにあたり準備等に不安を持つ利用者に対してサポートを行うなど、利用者に寄り添った対応を行っている点が評価できる。

評価シート（指定期間を通じた評価）

名古屋市守山文化小劇場における指定管理者の管理運営実績

1 基本情報

<所管局：観光文化交流局>

指定管理者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団		
主な業務内容	名古屋市守山文化小劇場の管理		
評価対象期間	平成 30 年 4 月～令和 6 年 3 月	指定管理期間	平成 30 年 4 月～令和 7 年 3 月

2 管理運営状況（評価結果の推移）

評価項目	評価区分						特記事項
	平成 30 年 度	令 和 元 年 度	令 和 2 年 度	令 和 3 年 度	令 和 4 年 度	令 和 5 年 度	
1 施設利用							
(1) 法令等の順守	○	○	○	○	○	○	
(2) 利用料金	○	○	○	○	○	○	
2 職員体制							
(1) 職員体制	○	○	○	○	○	○	
3 維持管理							
(1) 施設の維持管理	○	○	○	○	○	○	
(2) 再委託業務	○	○	○	○	○	○	
(3) 備品等物品の管理	○	○	○	○	○	○	
4 サービス							・子ども合唱団「もりっこ彩合唱団」を結成し、区役所との連携行事への出演や、東谷山フルーツパークでのアウトリーチなど、初年度から精力的に活動(H30) ・ホール利用率 92.5%（1 月末時点）で、対計画値比 4.9 ポイント増、対前年度比 4.4 ポイント増（R1） ・天井等落下防止対策工事のため休館（12 ヶ月）（R4）
(1) 利用実績	○	◎	—	—	—	○	
(2) 事業計画実施状況	○	○	○	○	○	○	
(3) 提案事業	◎	○	○	○	○	○	
(4) 広報・P R の実施	○	○	○	○	○	○	
(5) 利用者満足度・苦情・要望の把握・対応	○	○	○	○	○	○	
5 経費							
(1) 執行状況	○	○	○	○	○	○	

年度ごとの総合評価（所管局のコメント・特記事項等）	
平成 30 年度	利用率向上のため、演奏会等の本番利用者や劇場で開催される大会出場者に対する練習利用の案内や、新規利用希望者に対する見学対応等の積極的な営業活動を行った。この結果、ホール利用率は前年度実績値には届かなかったが、対計画値比0.6ポイント増の88.1%とした。また、土日のホール利用率および練習室利用率は100%を維持した。 施設事業では、子ども合唱団「もりっこ彩合唱団」を結成し、区役所との連携行事への出演や、東谷山フルーツパークでのアウトリーチなど、初年度から精力的に活動した。
令和元 年度	演奏会等の本番利用者に対するホールでの練習利用の案内や、利用希望者に対する申し込み方法等のわかりやすい案内を行った結果、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の1月末時点での利用率は計画値を4.9ポイント、前年度実績を4.4ポイント上回った。 施設事業では、次世代の実演家や指導者の育成事業の一つとして、連携協定を締結している大学との共催公演として「もりやまファインセクション みんなの懐かしのうた夏コンサート」を実施した。公演回数を昨年度よりも増やし、地域住民への鑑賞機会の提供にも努めた。
令和 2 年度	新型コロナウイルス感染症の影響を受けて利用が減少するなか、使用日直前での予約や映像収録、練習利用等にも柔軟に対応し利用率向上に努めた。 施設事業では、地域住民向けに鑑賞型事業を実施した。「亀井聖矢ピアノリサイタル」は、スタインウェイを所有する音楽向けの小劇場という施設の特徴を活かした事業で、催事の中止が相次ぐなかで感染症対策をとって開催した点も含めて、来場者から高く評価された。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。
令和 3 年度	主催事業の「もりやま子ども合唱団」において、感染症の流行の中でも過去最高の団員数を記録するとともに、テレビへの出演や志段味地区へのアウトリーチ、区役所イベントへの出演協力など、地域の合唱団として様々な活動を行った点が評価できる。 また、お客様満足度調査で、「とても満足」又は「満足」が、職員の対応においては99.5%、施設等全般においては100%と高評価となっており、引き続き利用者目線に立った施設運営を期待したい。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。
令和 4 年度	天井落下防止対策工事により、4月から3月末までの1年間休館であったため、再開館後に向けて事業チラシや利用案内を利用実績のある市民へ発送し、

	広報活動等に注力した。 また、他館開催やアウトリーチに注力した点も評価できる。劇場合唱団はコロナ対策に留意しながらホワイエで練習を続け、人数制限のため公演回数を増やして外部での2度の本番舞台を開催した結果、好評を得て再演オファーも得ることができた。
令和5年度	主催事業で行ったアウトリーチ事業は、大学生を出演させ、養護学校で開催した。若手の育成の場とするとともに、養護学校の生徒に音楽の楽しさを知ってもらう機会を創出した。新型コロナウイルス感染症の影響で3年ぶりの開催となったが、適切に対応できた。

3 利用状況等

具体的な取り組みや成果等
新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度に大幅な利用率の低下があったが、使用日直前での予約や映像収録、練習利用等にも柔軟に対応し、利用率向上に努めた。

4 収支状況等

具体的な取り組みや成果等
効率的な施設運営に努め、概ね計画通りの収支率を達成した。

5 利用者の意見や満足度等

利用者の意見や満足度等の内容・推移
指定管理者として組織全体で接遇研修を積極的に行い、利用者目線の管理を行うなどサービス面の強化を図り、利用者満足度調査では概ね「満足」の回答を得た。

6 総合評価

所管局のコメント・特記事項等
施設事業では、次世代の実演家や指導者の育成事業の一つとして、連携協定を締結している大学との共催公演を実施した。若い世代の育成の場とするとともに、地域住民への鑑賞機会の提供にも努めた。 また、世界3大ピアノの一つであるスタインウェイのグランドピアノを所有していることを活かした事業を工事休館期間から明けた初日に開催することで、施設のPRを実施できている点が評価できる。

評価シート（指定期間を通じた評価）

名古屋千種文化小劇場における指定管理者の管理運営実績

1 基本情報

＜所管局：觀光文化交流局＞

指定管理者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団		
主な業務内容	名古屋市千種文化小劇場の管理		
評価対象期間	平成 30 年 4 月～令和 6 年 3 月	指定管理期間	平成 30 年 4 月～令和 7 年 3 月

2 管理運営状況（評価結果の推移）

評価項目	評価区分						特記事項
	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
1 施設利用							
(1) 法令等の順守	○	○	○	○	○	○	
(2) 利用料金	○	○	○	○	○	○	
2 職員体制							
(1) 職員体制	○	○	○	○	○	○	
3 維持管理							
(1) 施設の維持管理	○	○	○	○	○	○	
(2) 再委託業務	○	○	○	○	○	○	
(3) 備品等物品の管理	○	○	○	○	○	○	
4 サービス							・ホール利用率 91.4%（1 月末時点）で、対前年比 3.2 ポイント増（R1） ・バリアフリーな円形劇場の特性や魅力を活かした事業を実施し、来場者から高評価を得た（H30）
(1) 利用実績	○	◎	—	—	—	○	
(2) 事業計画実施状況	○	○	○	○	○	○	
(3) 提案事業	◎	○	○	○	○	○	
(4) 広報・PRの実施	○	○	○	○	○	○	
(5) 利用者満足度・苦情・要望の把握・対応	○	○	○	○	○	○	
5 経費							
(1) 執行状況	○	○	○	○	○	○	

年度ごとの総合評価（所管局のコメント・特記事項等）	
平成 30 年度	昨年度に引き続き、情報誌やFacebookを利用した広報やステージコーディネーターによるサポート等の取り組みを行ったが、平日の利用が伸びず、ホール利用率は計画値・前年度実績共に下回った。しかし、土日のホール利用率は100%を達成することができた。 施設事業では、バリアフリーな円形劇場の特性や魅力を活かして障害のある方との協働事業を実施した。障害の有無に関わらず共に楽しむことができる事業となり、来場者から高評価を得た。
令和元 年度	紙媒体だけでなくSNSで直近の空き情報を発信したり、利用率が高いなかでも隙間の利用機会を活用するために、講演会での利用方法を劇場情報誌で案内した。そのような取り組みの結果、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の1月末時点の利用率は計画値及び前年度実績を上回った。 施設事業では、円形劇場という特性を活かした来場者参加型の演劇を通じて、鑑賞だけでなく公演に参加する機会を提供し、劇場の魅力を来場者に伝えることができた。他にも、鑑賞機会の少ない乳幼児とその保護者を対象とした「ベビーカーコンサート」では完売となる回もあり、ニーズを捉えた公演を実施できていると言える。
令和 2 年度	配信・収録による利用や近割（3カ月以内に申し込みされた方の料金割引サービス）等の案内を積極的に実施することで、利用率の向上に努めた。 施設事業では、障害の有無にかかわらず多様なダンサーが演目を披露する公演を無観客で実施し、収録した動画を動画配信サイトへ掲載した。出演者へ発表の場を提供することで、モチベーションの向上に繋げた。 なお、利用実績については、新型コロナウイルス感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。
令和 3 年度	円形劇場であり他の小劇場の機構と異なっている点が多いため、利用者に対する説明や相談に時間をかけて丁寧に対応しており、施設の魅力を伝えることで利用率向上に努めている。 施設事業では、劇場付きのゴスペルグループ「Chikusa Round Voices」を立ち上げ、20代から60代まで幅広い層が参加する、世代を超えた市民の交流の場を創出した。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。
令和 4 年度	20周年記念事業として、円形劇場という特性を踏まえたワークショップやシンポジウム等を実施しており、特徴ある設備を活用した作品や表現を発信する機会を創出することで、今後の施設利用促進に努めている点が評価できる。

	なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。
令和5年度	主催事業「りすん」は、三重県文化会館、高知県立県民文化ホール及び名古屋市演劇練習館と連携し、「地域の文化・芸術活動助成事業」として助成を受け、三重・高知・名古屋の3都市で開催された。質の高い公演を地域の方に観ていただくことで、地域の文化活動の振興に貢献した点が評価できる。

3 利用状況等

具体的な取り組みや成果等
情報誌及び SNS で施設の空き情報の発信を行うことで施設利用促進に努めている。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和2年度の利用率は大幅に下がったが、以降の利用率は年々上昇している。

4 収支状況等

具体的な取り組みや成果等
効率的な施設運営に努め、概ね計画通りの収支率を達成した。

5 利用者の意見や満足度等

利用者の意見や満足度等の内容・推移
指定管理者として組織全体で接遇研修を積極的に行い、利用者目線の管理を行うなどサービス面の強化を図り、利用者満足度調査では概ね「満足」の回答を得た。

6 総合評価

所管局のコメント・特記事項等
円形劇場である千種文化小劇場は、他の小劇場の機構と異なっている点が多いことから、利用者に対する説明や相談に時間をかけて丁寧に対応を行っている点が評価できる。 また、施設事業では、バリアフリーな施設特性を活かし、障害のある方との協同事業を実施した点が評価できる。

評価シート（指定期間を通じた評価）

名古屋市中川文化小劇場における指定管理者の管理運営実績

1 基本情報

＜所管局：觀光文化交流局＞

指定管理者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団		
主な業務内容	名古屋市中川文化小劇場の管理		
評価対象期間	平成 30 年 4 月～令和 6 年 3 月	指定管理期間	平成 30 年 4 月～令和 7 年 3 月

2 管理運営状況（評価結果の推移）

評価項目	評価区分						特記事項
	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
1 施設利用							
(1) 法令等の順守	○	○	○	○	○	○	
(2) 利用料金	○	○	○	○	○	○	
2 職員体制							・ 提案時の職員体制に満たない時期があったが、事前協議がなかった。(R2)
(1) 職員体制	○	○	△	○	○	○	
3 維持管理							
(1) 施設の維持管理	○	○	○	○	○	○	
(2) 再委託業務	○	○	○	○	○	○	
(3) 備品等物品の管理	○	○	○	○	○	○	
4 サービス							・ ホール利用率 92.8%で、対計画値比 6.5 ポイント増、対前年度比 5.8 ポイント増 (H30) ・ 中村文化小劇場の休館を受け、公演を追加実施。また、中村・中川区民割引を実施 (H30) ・ 地元企業等から前年度を超える協賛金を獲得 (R1) ・ 天井等落下防止対策工事のため1年間の休館 (R5)
(1) 利用実績	◎	○	—	—	—	—	
(2) 事業計画実施状況	○	○	○	○	○	○	
(3) 提案事業	◎	◎	○	○	○	○	
(4) 広報・PRの実施	○	○	○	○	○	○	
(5) 利用者満足度・苦情・要望の把握・対応	○	○	○	○	○	○	
5 経費							
(1) 執行状況	○	○	○	○	○	○	

年度ごとの総合評価（所管局のコメント・特記事項等）	
平成 30 年度	工事休館中施設の利用者に対して営業活動を行うとともに、施設の空き情報の積極的な提供等に努めた結果、ホール利用率は対計画値比6.5ポイント増、対前年度比5.8ポイント増の92.8%と高い利用率を達成した。 施設事業では、協賛金を活用した事業において、プロの実演家と市民参加の中高生による舞台芸術公演を行い、市民の文化活動への参加を促進した。また、昨年度中村文化小劇場・地域団体共催の「九の市寄席」を代替開催し、鑑賞の機会を提供するとともに、市民交流を活性化させた。
令和元 年度	SNSでの積極的な空き日情報の発信による成果に加え、普段利用している施設の休館に伴い中川文化小劇場を利用した利用者が、再開館後も引き続き中川文化小劇場を利用するといった例もあり、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の1月末時点での利用率は計画値を2.3ポイント上回った。 施設事業では、スポンサー企業の協力を得て区民割を導入し鑑賞機会の提供に努めたり、地域の歴史に関連した事業を地元の作曲家や実演家と連携して実施するなど、地域の文化活動の発展に寄与する取り組みを実施した。
令和 2 年度	施設事業では、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった海外アーティストによる公演の代替として、親子向けの公演を実施した。小さな子ども連れの親子を想定して、まとまって着席できるよう配席を工夫するなど、内容以外の点でも来場者のニーズに寄り添った形での開催に努め、高い来場者満足度を得た。出演者には区内で活動する実演家を起用して、地域の文化芸術関係者の活動支援としての役割も果たしている。協賛金を獲得している事業であり、代替公演を成功させて次期以降の事業継続につなげている点も評価できる。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。
令和 3 年度	市内や近隣都市の文化施設に劇場パンフレットの配架を依頼して施設の広報に努めたほか、オンライン配信を伴う利用にあたっての事前相談に丁寧に応じて利用に繋げるなど利用促進を図った。 また地元企業や団体の理解を得て、新規協賛を含めて多額の協賛金を獲得し、地域住民への鑑賞機会の提供や実演家に対する活動支援などの形で、継続的に地域に還元している点が評価できる。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。
令和 4 年度	毎年実施してきた第九合唱（R2・R3年度は中止）を20周年特別事業として実施した。区役所や事務局とも連携し、本番に向けての練習場所の提供、

	チケット販売や事務サポート等を通して、地域に根差した文化活動を支援した点が評価できる。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。
令和5年度	令和5年度は天井脱落防止工事のため休館していたが、休館期間のため利用のない立体駐車場でイベントを実施。5回実施する予定で企画したが、地元出演団体等からの賛同を得られ17回実施しており、休館期間を活かす事業で高い評価を得ている点が評価できる。 なお、利用実績については、工事休館期間であったため評価を実施することが困難であることから、評価しないものとする。

3 利用状況等

具体的な取り組みや成果等
平成30年度には、工事休館中に施設の利用者に対して営業活動を行うとともに、施設の空き情報の積極的な提供等に努めた結果、対前年度比5.8ポイント増の92.8%と高いホール利用率を達成した。

4 収支状況等

具体的な取り組みや成果等
効率的な施設運営に努め、概ね計画通りの収支率を達成した。

5 利用者の意見や満足度等

利用者の意見や満足度等の内容・推移
指定管理者として組織全体で接遇研修を積極的に行い、利用者目線の管理を行うなどサービス面の強化を図り、利用者満足度調査では概ね「満足」の回答を得た。

6 総合評価

所管局のコメント・特記事項等
施設事業では、地元企業や団体からの協賛金を獲得し、区民割を導入して鑑賞機会の提供やプロの活動家と市民参加の中高生による舞台芸術公演を行うなど、地域の文化活動の発展に貢献した取り組みが評価できる。

評価シート（指定期間を通じた評価）

名古屋市瑞穂文化小劇場における指定管理者の管理運営実績

1 基本情報

<所管局：観光文化交流局>

指定管理者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団				
主な業務内容	名古屋市瑞穂文化小劇場の管理				
評価対象期間	平成 30 年 4 月～令和 6 年 3 月	指定管理期間	平成 30 年 4 月～令和 7 年 3 月		

2 管理運営状況（評価結果の推移）

評価項目	評価区分						特記事項
	平成 30 年 度	令和 元 年 度	令和 2 年 度	令和 3 年 度	令和 4 年 度	令和 5 年 度	
1 施設利用							
(1) 法令等の順守	○	○	○	○	○	○	
(2) 利用料金	○	○	○	○	○	○	
2 職員体制							
(1) 職員体制	○	○	○	○	○	○	
3 維持管理							
(1) 施設の維持管理	○	○	○	○	○	○	
(2) 再委託業務	○	○	○	○	○	○	
(3) 備品等物品の管理	○	○	○	○	○	○	
4 サービス							・ホール利用率 85.6%で、対計画値比 8.8 ポイント増、対前年度比 6.3 ポイント増（H30）
(1) 利用実績	◎	◎	—	—	—	—	
(2) 事業計画実施状況	○	○	○	○	○	○	・ホール利用率 90.9%（1 月末時点）で、対計画値比 13.2 ポイント増、対前年度比 5.3 ポイント増（R1）
(3) 提案事業	○	○	○	○	○	○	・天井等落下防止対策工事のため 1 年間の休館。（R5）
(4) 広報・PR の実施	○	○	○	○	○	○	
(5) 利用者満足度・苦情・要望の把握・対応	○	○	○	○	○	○	
5 経費							
(1) 執行状況	○	○	○	○	○	○	

年度ごとの総合評価（所管局のコメント・特記事項等）	
平成 30 年度	指定管理初年度ながら、他の文化小劇場を管理しているノウハウを活用した営業活動により、ホール利用率は対計画値比8.8ポイント増、対前年度比6.3ポイント増の85.6%を達成した。 施設事業では、地域の団体や施設と積極的に協働事業を実施し、地域との関係構築、認知度向上に注力した。また、今年度から立ち上げた子ども歌劇団を活用した地域貢献についても次年度以降に期待したい。
令和元 年度	劇場周辺への営業訪問活動や、利用者に対する次回利用の案内に加え、近隣施設の休館に伴う利用者の流入もあり、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の1月末時点での利用率は計画値を13.2ポイント上回った。 地域文化の発信者の育成に力を入れており、複数の催事で劇場付き子どもオペラ劇団「瑞穂コペレッタ」の出演機会を設けて、技術の向上を図っている。更に発展させていき、地域行事への参加による地域貢献にもつなげていくことが期待される。
令和 2 年度	催事の開催を希望する利用者に対して、無観客や配信での開催といった新たな利用方法の提案を積極的に行い、安心して施設を利用してもらえるように努めた。 施設事業では、劇場付き子どもオペラ劇団「瑞穂コペレッタ」の稽古をリモートで行い、歌う様子を映像配信するなど、継続的に活動した。また、劇場での開催が難しい鑑賞型事業でも、中止とせず映像配信等へ変更して実施するなど、文化芸術に触れる機会の創出に努めた。 なお、利用実績については、新型コロナウイルス感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。
令和 3 年度	お客様満足度調査で、「とても満足」又は「満足」が、職員の対応及び施設等全般において 100%となっており、利用者からの意見に丁寧に対応する姿勢が高評価に結びついていると考えられる。引き続き利用者目線に立った施設運営を期待したい。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。
令和 4 年度	愛知県芸術劇場や他自治体等とともにノルウェーからダンスカンパニーを招聘した子ども向けの「えんどうまめとおひめさま」や、劇場の仕事を紹介する「劇場謎解きバックステージツアー」などでは、初めて来場いただく方も多く、施設の知名度向上に貢献した。 なお、利用実績については、感染症の影響により評価を実施することが困難であるため、評価しないものとする。

令和5年度	天井等落下防止対策工事の休館期間を利用して、バリアフリー設備の案内表示等の改修等を実施。また、主催事業「子どもオペラ劇団 瑞穂コペレッタ」では他施設と連携することで事業を継続して開催できた点が評価できる。 なお、利用実績については、休館期間であったため評価を実施することが困難であることから、評価しないものとする。
-------	---

3 利用状況等

具体的な取り組みや成果等
平成30年度は計画値と比較し8.8%増、令和元年度（1月末時点）では13.2%増と大幅に高い利用率となった点が評価できる

4 収支状況等

具体的な取り組みや成果等
効率的な施設運営に努め、概ね計画通りの収支率を達成した。

5 利用者の意見や満足度等

利用者の意見や満足度等の内容・推移
指定管理者として組織全体で接遇研修を積極的に行い、利用者目線の管理を行うなどサービス面の強化を図り、利用者満足度調査では概ね「満足」の回答を得た。

6 総合評価

所管局のコメント・特記事項等
地域文化の発信者の育成に力を入れており、複数の催事で劇場付き子どもオペラ劇団「瑞穂コペレッタ」の出演機会を設けて、技術の向上を図っている。また、令和5年度の休館期間中には、「瑞穂コペレッタ」が出演する機会を他施設と連携することで創出した点が評価できる。